

ご使用前にラベルをよく読み正しくお使い下さい。
また、必要に応じて読めるようにこのラベルをはがさないでください。

殺虫剤(業務用)

三丸 バイテックスNP油剤

第2類医薬品

18L

*【使用上の注意】

してはいけないこと

●薬剤を口や目に入れないこと。●小分け配布をしないこと。

相談すること

●万一、誤って薬剤を飲み込んだ場合は、吐かせず直ちに医師の診療を受けること。●薬剤の使用により頭痛、目や喉の痛み、咳、めまい、吐気、気分が悪くなった場合などには、直ちに使用を中止し、清浄な空気のある場所で安静にして、医師の診療を受けること。●医師の診療を受ける際には、本剤が石油系溶剤を含む製剤であること、および使用薬剤の名称、成分名、症状、被曝状況についてできるだけ詳細に医師へ告げること。

保管及び取り扱い上の注意

(1) 使用に際しての注意

●定められた効能又は効果に従い、用法及び用量を厳守して使用する。●薬剤によってアレルギー症状やかぶれなどを起こしやすい特異体質の人は、薬剤の処理作業には従事しないこと。●病人、特異体質者、妊婦、乳幼児などは、薬剤の影響のない場所に移動させること。●環境を汚染しないように乱用を避けること。また養殖池、井戸、地下水などを汚染する恐れのある場所、蜜蜂、蚕(桑)、水棲生物などに被害を及ぼす恐れのある場所では使用しないこと。●食品、食器、飼料、おもちゃ、寝具、衣類、愛玩動物、鑑賞魚、植物、貴重品、美術品、楽器、電気製品などはあらかじめ他へ移すか、あるいは格納し、薬剤がかからないようにすること。●保護具(長袖の作業衣、作業帽、保護メガネ、保護マスク、保護靴、ゴム手袋など)及び使用する機械器具は、あらかじめよく点検整備しておくこと。●使用に際しては、必要量だけを取り出し、その都度使い切る。●本剤と他の薬剤とをむやみに混合したり、加熱したりしないこと。●塗塗面やプラスチック、石材、漆喰、白木などに薬剤が付着した場合は変色・変形する場合があるので、覆いなどの処置をして薬剤がかからないようにすること。水道配管などにかかった場合はすぐ洗うこと。また、薬剤が植物にかかると枯れることがあるので、注意すること。●本剤は引火性があるので、火気のある場所では使用しないこと。また、電気火花が発生しそうなところでは電源を切ってから使用すること。●小分けするときは、食品用の容器や誤用の恐れのある容器に入れないこと。

(2) 使用中や使用後の注意

●使用に際しては、保護具は必ず着用し、身体の一部を少なくして薬剤を浴びないようにするとともに、できるだけ吸い込まないように注意すること。●屋内など通気の悪い場所での作業では、十分換気するように配慮し、処理後は必ず換気をする。●薬剤の分取、散布中は喫煙、飲食をしないこと。使用中又は使用後にトイレに行くときは、手や顔をよく洗ってから行くこと。●使用後は必ず手や指などを石けんと水でよく洗うこと。また、使用中薬剤が皮膚に付いたときは、直ちに石けんと水でよく洗うこと。万一、薬剤が口、目などに入ったときは、直ちに水でよく洗い流すこと。作業中に大量の薬剤を浴びた場合には、直ちに汚染した衣類を脱ぎ、シャワーを浴びるなどして体に付着した薬剤を洗い落とし、清潔な衣類に着替えること。また、必要に応じて医師の診療を受けること。●作業時の衣服は、他の衣服と区別して洗濯し、保護具も洗剤でよく洗うこと。薬剤処理に用いた機械器具類もよく洗うこと。●使用済みの空容器などは、石けん水でよく洗い、小児が手に触れないようにするとともに、他に転用しないこと。汚染した器物や洗浄液は作業現場から持ち帰り、河川、湖沼、下水道などの水系や、地下水を汚染する恐れのある場所には捨てないこと。

(3) 保管上の注意

●使用後に残った薬剤は、ラベル表示のある元の容器に密封し、他のものと区別して保管すること。●保管場所は、食品、食器、飼料などと区別し、小児の手の届かない所で、直射日光が当たらない乾燥した涼しい場所にする。

(4) その他の注意

●漏洩した場合には、次のように処置すること。①吸収性の媒体、例えば砂、軽石、ボロ布、オガクズなどに吸着させ、広がりを阻止して回収すること。②火災の危険が生じた場合には、すべての火元を止め、火災の誘発を防止する処置を講ずること。③漏洩した薬剤が井戸、池、河川などの水系に流入した場合には、直ちに警察又は保健所に届け出ること。●火災事故の場合には次のように処置すること。①火災の拡大を軽減する最大の措置を講ずること。②薬剤が燃焼すると有害なガスが発生する恐れがあるので、人を避難させること。

注意 一人体に使用しないこと。

【効能・効果】【用法・用量】

一般に害虫の生息又は発生場所に対して使用する。虫に直接噴霧する場合は過剰な使用を避け、煙霧の場合は1㎡につき2～3mLとする。

■ハエ・蚊成虫

直接噴霧…通常、成虫に向けて適宜噴霧する。
残留噴霧…1㎡につき50mLをハエや蚊のよく止まる天井や壁等の全面に、あらかじめ噴霧する。

■ゴキブリ(油虫)

1㎡につき50mLの割合で重点的に、ゴキブリの潜み場所あるいはよくはい回る場所に残留塗布又は噴霧する。

■ノミ、ナンキンムシ、イエダニ

1㎡につき50mLの割合で使用する。

■室内塵性ダニ類

畳やカーペットの裏など、生息場所に1㎡につき50mLの割合で使用する。散布は、日常手の触れないところにする。散布後換気を良くする。

【成分・分量】

フェンチオン…0.5%

フタルスリン…0.05%

【消費者相談窓口】サンケミファ㈱ TEL(022)394-3031

副作用被害救済制度 TEL0120-149-931

製造販売元

○サンケミファ株式会社

仙台市青葉区芋沢字大竹新田8-1

第四類・第3石油類・危険等級Ⅲ・火気厳禁

製造番号

使用期限



ラベル: PP